

いつもの
安心のために、
いつも
そばにいる。



化粧品による肌のトラブルをなくしたい。そんな想いから無添加化粧品を生みだしたファンケル。以来、サプリメントや発芽米、青汁などさまざまな商品とサービスを、安心、安全、やさしさの視点から提案しつづけています。

あなたを想うサイエンス。

FANCL

株式会社ファンケル 〒231-8528 横浜市中区山下町89-1 <http://www.fancl.co.jp/> ☎0120-34-2222

（社）日本通信販売協会会員 通信販売業界を代表する唯一の公益法人。広告適正化、アフターケア徹底等をめざし、昭和58年に設立。

キャンパスベンチャーグランプリ東京



審査委員長 一柳 良雄

昨年、CVG東京には今年もチャレンジャー精神に溢れた学生が集まって、こうした若者を応援することが大人の責任と考

審査講評

税力のある企業の創出が不可欠で、その担い手として重要なベンチャーです。そして、挑戦して起業しようという若者を育てなければなりません。また、スマートフォンの多機能携帯電話、活用するプランは毎年のように出てくるアイデアですが、このプランがほかと違っていたのは実行力です。飲料メーカーなどと積極的に交渉し、共同事業化を実現しています。不足している能力はアライアンスで補うという今のビジネスに不可欠なことをきちんと実践しており、実現の可能性を感じました。

力、社会に貢献したいという気持ちが、考え方も高評価のポイントです。関東経済産業局長賞には慶応義塾大学大学院の竹君を選びました。マイ・タンブラー用の飲料自動販売機のプランは毎年のように出てくるアイデアですが、このプランがほかと違っていたのは実行力です。飲料メーカーなどと積極的に交渉し、共同事業化を実現しています。不足している能力はアライアンスで補うという今のビジネスに不可欠なことをきちんと実践しており、実現の可能性を感じました。

チャレンジで活性化に貢献を

優秀賞

アステラス製薬賞

テクノロジー部門



現在、植物性油脂の需要が急増し、原料となるヤシ

東京大学
谷本 征樹
尾田 知識
牛房 知香
久保 諒太

科のオイルパームは増産のレイアウトでは大規模なオイルパーム農場の開発が行われている。一方で、収穫を終えた廃棄古木の処理の課題がある。この課題を解決するため、

成長市場に進出 環境ビジネス

決するため古木からバイオエタノールとウッドペレットの2種類の燃料を大量に生産する。農場内にバイオマス燃料生産用プラントを設置。古木から樹脂を絞る工程と発酵効率を高める技術に森隆東京大学大学院教授の特許を用いて、バイオエタノールを生産する。絞った後の樹皮・幹は水分が失われ、乾燥工程のエネルギー投入の必要なくウッドペレットにできる。自社工場での生産のほかに、契約工場からは生産した燃料を買い取り、各国の市場への販売も行う。今後、再生可能かつカーボンプートラルであるバイオマス発電の導入が世界的に進み、バイオマス燃料の需要増加が予想される。同プランは成長市場に進出する環境ビジネスだ。

オイルパーム廃棄古木から2種類のバイオ燃料を大量生産

関東経済産業局長賞

テクノロジー部門



竹さん

慶応義塾大学大学院
竹 康宏

ペットボトルは回収されても、リサイクルされることは非常に少ない。再使用できる飲料容器（リターナブル容器）のタンブラーの設置されたドリンクフェースペーパーと加

リターナブル容器普及を

し、飲料補給時に読み取り機と通信して加盟店のクーポンやポイントが付与し、利用者に特典を与える。また、ディスプレイに備えたデジタルサイネージによって、利用者の属性を判断し、加盟店への効果的な誘導が可能となる。行動マーケティングの取得や、属性判別するターゲティング広告も期待でき、ICTタグによるリターナブル容器の新たな価値を創造する。基礎となるICTシステム、ICTタグを内蔵したタンブラーは完成させた。まずは慶応義塾大学構内での運用を計画している。

ICTタグを利用したタンブラー利用促進事業

第8回CVG東京審査委員（敬称略）

- 委員長
一柳 良雄（一柳アソシエイツ社長、日本ベンチャー学会理事）
- 特別委員
鷲津 雅也（関東経済産業局地域経済部産業技術課長）
- 委員
伊藤 豊（スローガン社長）
白杵 ひろみ（ファンケル 管理本部総務部CSRグループマネージャー）
川原 洋（日本MITエンタープライズ・フォーラム理事）
河村 真（アステラス製薬 広報部長）
古賀 孝明（NTTデータ ビジネスソリューション事業本部統括部長）
作本 宜之（ODKソリューションズ 総務部次長兼総合企画課長）
下條 武男（日本コンピュータ・ダイナミクス会長）
首藤 健次（マザーズシステム・ジャパン社長）
高田 和郎（AGS 取締役兼常務執行役員）
田村 真理子（日本ベンチャー学会事務局長）
西尾 昇治（東京商工会議所 中小企業部長）
真木 敏雄（りそな総合研究所 執行役員・研修事業部担当）
松谷 卓也（プロジェクトニッポン社長）
吉田 喜一（東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科教授）

毎日、TDKのエコと暮らしています。

スマートフォンと「ECO LOVE」製品

フラットテレビと「ECO LOVE」製品

エアコン/冷蔵庫と「ECO LOVE」製品

太陽光発電/風力発電システムと「ECO LOVE」製品

LEDと「ECO LOVE」製品



ECO LOVE

TDKの環境配慮型製品の中で、環境負荷低減効果が高いものを「ECO LOVE」、またさらに効果が高く業界トップレベルのものを「SUPER ECO LOVE」と名づけました。

クルマや家電、ケータイのエコを支えるTDKの「ECO LOVE」製品。素材のグリーン調達から省資源、省エネ、有害物質の使用禁止、リサイクルまでライフサイクル全般での環境性能を高めています。毎日の暮らしの中で、見えないけど大きな役割をはたすTDK。これからも、知恵と技術で、ひとつ上のエコへ。

小さなエコします。
大きなエコになります。TDK